

岐阜県成長・雇用戦略2017の概要 ～2020年に向けた8つの重要プロジェクト～

平成26年3月に「岐阜県成長・雇用戦略」を策定。
雇用情勢の変化や第4次産業革命への対応など、新たな課題も生じていることから、2020年に向けた8つの重要プロジェクトとしてとりまとめて改訂。

数値目標の※印は年度、
無印は暦年の目標値

[1] 産業人材確保対策プロジェクト

現状・課題

- ◇有効求人倍率の高い状況が続き、人手不足が深刻化
- ◇県内民間企業の障がい者実雇用率は1.95%
法定雇用率(2.0%)達成企業は、6割以下(56.7%)

今後の方向性

<企業の人材確保・育成>

- ◇「中小企業総合人材確保センター」を核とした企業の人材確保の総合的支援
- ◇子育て中の女性や高齢者、外国人など多様な人材の活用促進
- ◇成長産業、製造業、サービス業など各産業分野のニーズに応じた人材の育成

<障がい者の一般就労支援>

- ◇「障がい者総合就労支援センター(仮称)」を中心とした、障がい者の一般就労に向けた支援強化

数値目標	現状	H32
県内大学新卒者の 県内企業への就職率※	H27: 39.3%	50.0%
労働力人口	H27: 107.7万人	109万人
子育て支援エクセレント 企業の認定数(累計)※	～H27: 55社	～H31: 150社
県内障がい者実雇用率※	H28: 1.95%	2.30%

[2] 岐阜県第4次産業革命推進プロジェクト

現状・課題

- ◇生産性向上、新商品開発、技術開発、付加価値創造への対応
- ◇ヒト・モノ・カネ・情報の不足等により、県内中小企業のIoT導入・活用が進んでいない

今後の方向性

- ◇「岐阜県ITものづくり推進ラボ」による普及啓発や専門家との相談など企業の状況に応じた支援
- ◇県試験研究機関によるモノづくりスマート化のための研究開発、県試験研究機関の持つセンシング技術やデータ解析技術等研究成果実用化に向けた現場実証
- ◇県内企業のIoT設備の導入促進に向けた支援
- ◇中核的拠点ソフトピアジャパンとIAMASの活用、県内大学・IT関連団体等との連携強化

数値目標	現状	H32
従業員1人当たりの 付加価値額	H26: 920万円	1,160万円
県内情報サービス業 の年間売上高	H26: 652億円	1,000億円

[3] 海外展開・販路拡大支援プロジェクト

現状・課題

- ◇国内市場の縮小、価格競争激化への対応のため、県内モノづくり企業が海外展開を目指す傾向
- ◇県内中小企業の競争力を高めるため、意欲ある企業への強力な支援が必要

今後の方向性

- ◇意欲ある県内中小企業の海外市場への展開支援
・海外デザイナーと連携した国際見本市への出展
- ◇県産品販路拡大のビジネスチャンスの提供
・国内外の見本市・展示会への出展
・首都圏でのテストマーケティング
- ◇新分野に挑戦する中小企業の新商品開発、販路開拓等への支援の拡充

数値目標	現状	H32
アジア、北米、西欧向けの 輸出額	H26: 4,503億円	6,000億円
県内食品製造業(4人以上) の製造品出荷額	H26: 3,288億円	3,600億円

[7] 企業誘致・設備投資促進プロジェクト

現状・課題

- ◇本県の企業誘致は5年ほど好調を維持
- ◇成長分野の企業集積が必要
- ◇立地可能な工場用地の確保

今後の方向性

- ◇成長分野の企業集積に向け、補助制度と優遇税制を活用した誘致活動
- ◇東海環状沿線市町と連携した戦略的・計画的な工場用地開発
- ◇東海環状全線開通やリニア開業を見据えた企業誘致
- ◇企業の成長分野への進出・生産性向上のための機械設備の更新支援

数値目標	現状	H32
製造業の企業立地 件数(累計)	H26～27: 78件	H26～32: 260件
新たな工場用地 開発面積(累計)※	～H27: 32ha	～H32: 300ha

[4] 航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト

現状・課題

- ◇航空機市場の拡大が期待される中、航空宇宙産業発展のため総合的な支援が必要

今後の方向性

- ◇各拠点を活用した切れ目のない人材育成・確保
・小中学生:岐阜かかみがはら航空宇宙博物館
・高校生:モノづくり教育プラザ
・就業者:成長産業人材育成センター
- ◇海外展開や競争力強化、他産業からの新規参入、宇宙分野進出の支援
- ◇国際戦略総合特区を活用した規制緩和や税制・金融措置による事業環境の整備

数値目標	現状	H32
県内航空宇宙産業の 製造品出荷額	H26: 2,571億円	4,000億円
航空宇宙産業人材育成数 (累計)※	～H27: 584人	～H32: 3,500人
リニューアル後の航空宇宙 博物館入館者数(年間)※	H27: 14万人	50万人

[5] 成長産業分野振興プロジェクト (医療福祉機器・食品・医薬品・次世代エネルギー)

現状・課題

- ◇「成長産業人材育成センター」を整備(H28.11)
- ◇企業ニーズに応じた伴走型支援が必要

今後の方向性

- ◇同センターにおける研修の充実・強化による成長4分野の専門人材育成
- ◇4分野の新商品・サービスの創出、販路開拓、産学官連携による研究開発
- ◇「食品科学研究所(仮称)」の整備

数値目標	現状	H32
4分野を対象とした 研修受講者数(累計)※	H27: 0人	～H32: 2,500人
医薬品、医療福祉機器 分野の製造品出荷額	H26: 1,738億円	2,000億円
再生可能エネルギー 導入量※	H27: 10.2PJ	12.0PJ

[6] 観光産業の基幹産業化プロジェクト

現状・課題

- ◇リピーターの確保、観光消費額のアップが必要
- ◇観光客のニーズの多様化による観光地間の競争激化
- ◇周遊・滞在型観光の定着が必要

今後の方向性

- ◇「関ヶ原古戦場」や「リニア岐阜県駅周辺」を核とした広域周遊観光の推進
- ◇「岐阜の宝もの」等観光資源の市場化
- ◇「世界に誇る遺産」等を核とした国内・海外誘客
- ◇観光人材の育成・確保やDMO形成支援など競争力の高い観光地域づくり
- ◇バリアフリー観光、外国人観光客の受入環境整備などユニバーサルツーリズムの普及

数値目標	現状	H32
観光消費の経済波及効果	H27: 4,214億円	5,000億円
観光入込客数(実数)	H27: 4,360万人	4,600万人
外国人延べ宿泊者数	H27: 93万人	150万人

[8] 企業技術力強化支援プロジェクト

現状・課題

- ◇分野横断型の高度な技術支援が必要
- ◇ソフトピアジャパンとの連携強化が必要

今後の方向性

- ◇工業系試験研究機関の再編・集約による企業支援機能の強化
・「モノづくり拠点」の整備
・「食品科学研究所(仮称)」の整備
- ◇工業系試験研究機関とソフトピアジャパンとの連携による県内製造業のIoT導入・活用支援

数値目標	現状	H32
依頼試験件数※	H27: 17,204件	24,000件
開放機器件数※	H27: 18,799件	21,000件